

令和4年9月30日 13:30-16:30
「第1回 愛知県農泊ネットワーク促進セミナー」
～農泊の高付加価値に向けた具体策～

0→**1**→**2**

～南知多・農泊推進の取組～

南知多農泊推進協議会
一社) 知多半島観光事業協会
プロジェクトマネジャー・岡川美巳

令和2年7月14日 15時-16時30分

SAVOR JAPAN事業2020年度キックオフミーティング

0→1

～SAVOR JAPAN 認定を機に実施した南知多の取組～

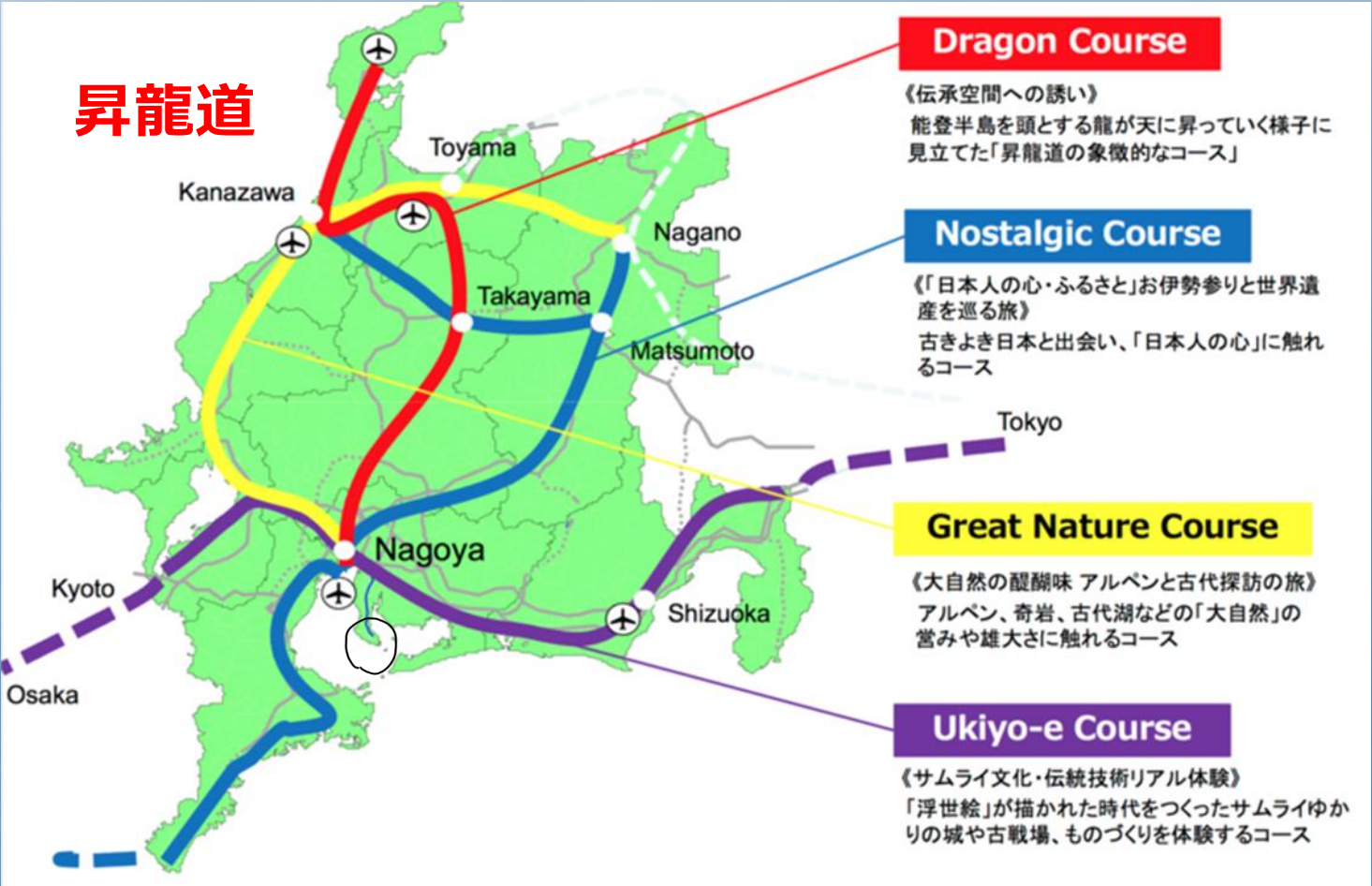
南知多農泊推進協議会

一社) 知多半島観光事業協会

プロジェクトマネジャー・岡川美巳

南知多エリアの概要

1. 知多半島の、最南端と2つの離島



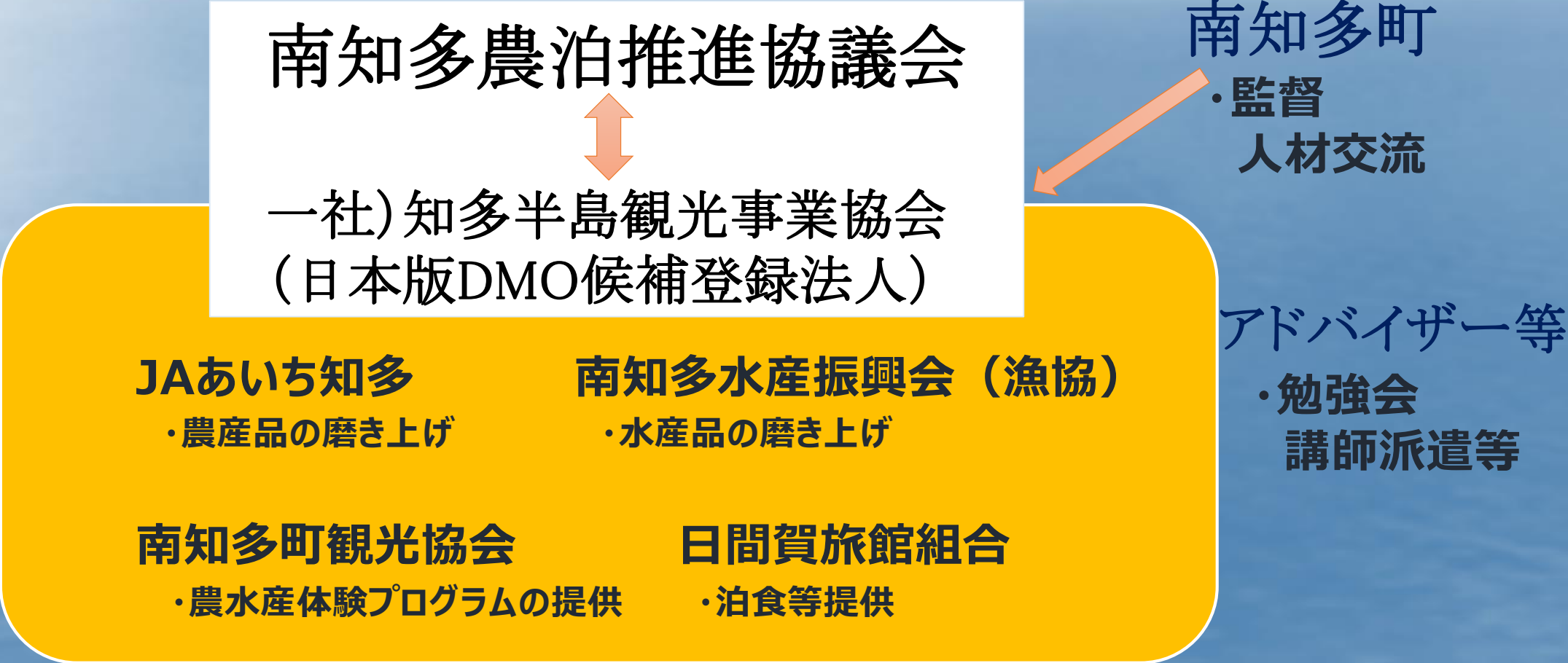
南知多エリアの概要

2. 観光指標はこんな感じでした

認定年度（令和元年）	実 績
外国人観光客宿泊数（人泊）	* 全体 5,500 (農泊 253)
外国人観光客数（人）	約7,000
農泊宿泊者数（人）	8,253
体験プログラム（本）	40
体験プログラム販売数（人）	22,100
観光消費額（円）	10,860,000,000

南知多エリアの概要

3. 組織体制



SAVOR JAPAN認定 までの道のり

1. 1年目のチャレンジとその結果

- 平成28年6月 一社) 知多半島観光事業会 設立
* 団体の中核法人、日本版DMO候補法人
DMOとしての修業時代
- 平成30年6月 南知多農泊推進協議会 設立 (宿泊事業者等主体)
- 7月 農泊事業に関するキックオフミーティング実施
SAVOR JAPAN 認定申請 (1回め) ⇒落選
- 8月 平成30年度農山漁村振興交付金 交付決定
地域食材等に関する勉強会等実施

SAVOR JAPAN認定 までの道のり

事業参画の必要性を地域に説明、、

する時間が足りなかった。。。

SAVOR JAPAN認定 までの道のり

初年度の勉強会風景



初年度作成の「地域の食材一覧」

南知多町 地域資源リスト									
時期	祭り・文化	体験漁業	魚介	野菜・米	果実	食文化	花	自然・その他	
春	3~5	<ul style="list-style-type: none"> ・底引き網漁 ・タコ・魚つかみ ・地引網 ・釣りと遊覧 ・スナメリ探検隊 ・堤防釣り 	<ul style="list-style-type: none"> ・貝 ・生わかめ ・シラス 	<ul style="list-style-type: none"> ・田植え ・キャベツ ・きゅうり 	<ul style="list-style-type: none"> ・いちご ・グレープフルーツ 	<ul style="list-style-type: none"> ・あさりの干物 ・佃煮づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・河津桜 ・菜の花 ・ルピナス ・ポピー・ストック ・かすみ草 ・金魚草 	<ul style="list-style-type: none"> ・潮干狩り 	
夏	6~8	<ul style="list-style-type: none"> ・ぎおん祭り、野島祭り（篠島） 7月第2土、日曜日 ・ほうろくまつり（日間賀島） 7月第2土曜日 ・鯛まつり（豊浜） 7月中下旬土、日曜日 ・たこまつり（日間賀島） 8月12日 ・内海花火大会 8月17日 	<ul style="list-style-type: none"> ・イルカ体験 ・底引き網漁 ・タコ・魚つかみ ・地引網 ・釣りと遊覧 ・スナメリ探検隊 ・堤防釣り 	<ul style="list-style-type: none"> ・あなご ・シャコ ・はも ・鯛 ・かれい ・くろだい ・いわし ・カニ ・テングサ 	<ul style="list-style-type: none"> ・トウモロコシ ・オクラ ・トマト 	<ul style="list-style-type: none"> ・びわ ・メロン ・スイカ ・キウイ ・ブルーベリー 	<ul style="list-style-type: none"> ・梅干し漬け ・らっきょう漬け ・てんぐさ干し ・パーベキュー 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひまわり ・コキア 	<ul style="list-style-type: none"> ・夜光虫 ・海水浴
秋	9~11	<ul style="list-style-type: none"> ・内海神楽船まつり（内海） 9月中下旬 ・おんべ鯛奉納祭り（篠島） 10月12日 ・師崎大名行列（師崎） 10月中旬の土、日曜日 	<ul style="list-style-type: none"> ・底引き網漁 ・タコ・魚つかみ ・地引網 ・釣りと遊覧 ・スナメリ探検隊 ・堤防釣り 	<ul style="list-style-type: none"> ・いわし ・ぼら ・いな ・すずき ・さわら ・きす 	<ul style="list-style-type: none"> ・稲刈り ・サツマイモ 	<ul style="list-style-type: none"> ・メロン ・みかん ・いちじく 	<ul style="list-style-type: none"> ・ぼたもち 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひまわり ・コスモス（街道） ・ベルギーマーム 	
冬	12~2	<ul style="list-style-type: none"> ・大名行列（篠島） 1月3、4日 ・左義長まつり（師崎） 1月第4日曜日 ・どんど焼き 		<ul style="list-style-type: none"> ・ふぐ ・なまこ（このわた） ※三大珍味 ・わかめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャベツ ・ブロッコリー ・きゅうり 	<ul style="list-style-type: none"> ・いちご 	<ul style="list-style-type: none"> ・たくあん漬け ・味噌 ・もちつき ・おせち料理づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・河津桜 ・菜の花 ・水仙 ・梅 ・ガーベラ 	
								<ul style="list-style-type: none"> ・温泉 ・ハーブ 	

初年度作成の「地域と祭り」

南知多町の祭り

大名行列（篠島）

南知多町観光協会 <http://minamichita-kk.com/event/篠島大名行列>
1月3日の夜、「オジンジキサマ」と呼ばれる八王子社の神霊が神明社へと渡り、明けて4日、オジンジキサマが大名行列を従えて八王子社へ帰るといふ神事。篠島海水浴場で奴踊りが行われた後、御神木の「オタナキサマ」を手に入れるため、裸の男たちが激しく揉みあいます。



篠島まちづくり会 <http://shinonjima-matsuri.jp/ianuarv.html>

* どんなお祭り

篠島の島民にとって、お正月と言えば1月の3この正月祭礼のことを指します。「大名行列」は、しめやかさと賑やかさを併せ持つ篠島なら子を撮影しに、島外から何十人というアマチュアカメラマンが来られます。

お祭りの軸になるのは、八王子社に祀られている「オジンジキサマ」が、神明神社に祀られている女性神の所、神明神社で一晩を過ごし、また八王子社へと舞臺程では、島の男たちによって大名行列が作られて行かれます。

* しめやかに行われるオワタリ

正月の祭礼は1月3日から始まります。この日な衣装をした男たちが集まり、二列の隊列を組めます。島の男たちは隊列を組んだ状態で、旧年先頭に立っているのは、その年に数えて42歳前厄、43歳の後厄の男たちもここに加わっている篠島では高校生になると、このお祭りのための生・小学生の男子が続きます。彼らの役割はか

左義長まつり（師崎）

一般社団法人愛知県観光協会 <https://www.aichi-now.jp/spots/detail/85/>

* 概要

大のぼりを振り回して燃やす豪快なまつり

師崎の左義長まつりは、裸姿の若衆が「無病息災」「大漁」「商売繁盛」などの祈りを込め、10mにも及ぶ大のぼりをどんど焼きの上に倒したり、起こしたりして、竹を燃やし尽くすまで盛大に祝います。もちろん最後は、厄落としの餅まき！竿の先に餅をつけて焼いて食べると夏病みしないといわれています。



南知多町観光協会 <http://minamichita-kk.com/event/師崎左義長まつり>

* 祭りのいわれ・歴史

大漁祈願をかけた大のぼりを立て、焼き尽くすこの行事は、旧暦1月15日、浜を吹く風が身を切るように冷たい中、行われる。起源は明らかではないが室町時代から行われているといわれている。現在は1月の第4日曜日に行われている。

* 内容

無病息災や大漁を願う行なわれる祭り。祭りは、師崎地区5箇所でおこなわれ、大漁祈願をかけた大のぼりを立て、正月飾りやお札といっしょに焼き尽くしていく。ただ近年は、人手不足等により大のぼりが立てられるのは2箇所しかない。

この大のぼりは、和紙で作られ、長さ10m、幅3mの大きなもので大漁を祈った判じ物（はんじもの）が書かれている。

※判じ物：絵・文字にある意味を隠し、それを当てさせるもの

大のぼりの横には、地区の家々から持ち寄った正月飾りが積み上げられ、その横には旧年中のお札を納めた長さ約2mの紙で作った舟も飾られている。

時がくると、地区の総代役は、うやうやしくお神酒を正月飾りの山と紙で作った舟にふりかけ、大漁を祈願する。そして、それらに火をつける。その後、新しいさらしのふんどしをつけ、体を赤や青で彩った裸の若衆が火のついた飾りばつての舟をかつぎ、大のぼりの周りを回る。舟は、みるみるうちに燃え上がり、若衆たちは焔と煙にあおられていく。

やがて、勇ましい掛け声とともに焔に包まれた舟を海中に押し流す。一方、正月飾りの山は勢いよく燃え上がり、煙は空高く上がっていく。

この間に八王子社に祀られているオジンジキサマは「庁屋の人」と呼ばれる神職の人々によって神明神社へと運ばれていきます。庁屋の人はオジンジキサマを目にし、また直接ご神体に触れるために、事前に寒中の海でその身を清めています。オワタリは神事であり、またその様子を目にするに祟りがあると伝えられていることから、島民…特にオワタリの出発地である八王子社のそばに住む人々は、神殿の扉が開く音を聞かないように幼い子どもを島外の親類の家へと預けたりすることもあるそうです。

八王子社をあとにしたオジンジキサマは日中、大名行列で賑わっていた前浜を通り、神明神社へと向かいます。そしてオジンジキサマの到着にあわせて神明神社では太鼓が打ち鳴らされます。島の人々はこの太鼓の音を合図に我先にと、神明神社へと参拝へ向かうのです。この時に島民が先を競うのは、参拝が早ければ早いほど御利益があると伝えられているからです。

島の人たちが詣でるのは神所に取られたオジンジキサマです。島の人たちはここで初めてオジンジキサマの姿を確認することになります。オジンジキサマは全体が油垂（シデ）と呼ばれる紙に覆われた直径1メートル

いた大のぼりが倒され、また起こされたりして、あたり一面は焔と煙でいっぱいになる。

若衆たちの掛け声はいつそう高まり、大のぼりも激しく燃え上がる。今年の大漁を祈る漁師の心意気が見物している人たちの胸にひしひしと伝わってくる。

祇園祭・野鳥祭（篠島）

南知多町観光協会 <http://minamichita-kk.com/event/篠島ぎおん祭り・野鳥まつり>

* 概要

ぎおん祭りは篠島の祭礼の中でも特に子ども達が主役と言えるお祭りです。小学生達はリサイクル品を活用して作られたおみこしを担いで朝8時頃からいくつかの組に分かれて島中を練り歩きます。野鳥祭りは豊漁と漁の安全を願う祭りです。漁船団が無人島「野鳥」をぐるりと一周して戻ってくる船団パレードが最大の見所です。



一般社団法人愛知県観光協会 <https://www.aichi-now.jp/spots/detail/1336/>

初日に行われる『ぎおん祭り』では、小学生のおみこし練り歩きや篠島海岸で花火大会があります。

2目に行なわれる『野鳥祭り』は、豊漁と漁の安全を願う伝統の祭りで、前浜海岸の沖合いを大漁旗を掲げた漁船が海上を走る『船団パレード』を行われます。

<初夏を彩る海の花火大会>

南知多町の数ある花火大会の最初におこなわれるのが篠島花火大会です。篠島港沖の堤防から打ち上げられるので、港付近などここからでも鑑賞可能。大漁旗を掲げた漁船の上にあがるスターマインは見ごたえ十分です。



篠島まちづくり会 <http://shinonjima-matsuri.jp/july.html>

* どんなお祭り

祇園祭はもともと4月に執り行われており、野鳥祭とはまったく関連のないお祭りでした。それがいつの頃からか7月に連日催されるようになったと言います。以前は金曜・土曜と平日にかかる形で実施されていましたが、島外の観光客が参加しやすいよう、2011年より土曜・日曜の週末に開催されることになりました。

* 1日目 祇園祭

祇園祭は篠島の祭礼の中でも特に子ども達が主役と言えるお祭りです。小学生達はリサイクル品を活用して

初年度のSAVOR JAPAN 認定申請「講評」

(1) 有識者会議等選定過程での講評

	講評
評価点	○地域の農林水産業（海産物、果物）を活用した体験プログラムの開発が行われている。
要改善点	<ul style="list-style-type: none">●地域の食について、個々の歴史的ストーリーや農林水産業との関連が2島に限って記載されているが、それをつなげる核となる食文化のストーリーがない。まずは取組の核となる「食」をしっかりと定め、その背景にある農や地域資源との関連性を明確にして、ひとつのストーリーとして発信できるように整理されたい。●多言語表記など訪日外国人の受け入れ体制について、取組計画書に詳細に記載する必要がある。●知多半島には中部国際空港があり、インバウンド誘致の可能性が高い地域であるため、2島以外の周囲の地域の関係者とさらに連携をとることにより、魅力のある取組となると思われる。

初年度のSAVOR JAPAN 認定申請「講評」

「気候や地勢はよい、食材も豊富でゆもある。
しかし地域に一体感が感じられない。」

「**地域を一つにするストーリーを、
核となる食文化を。。**」

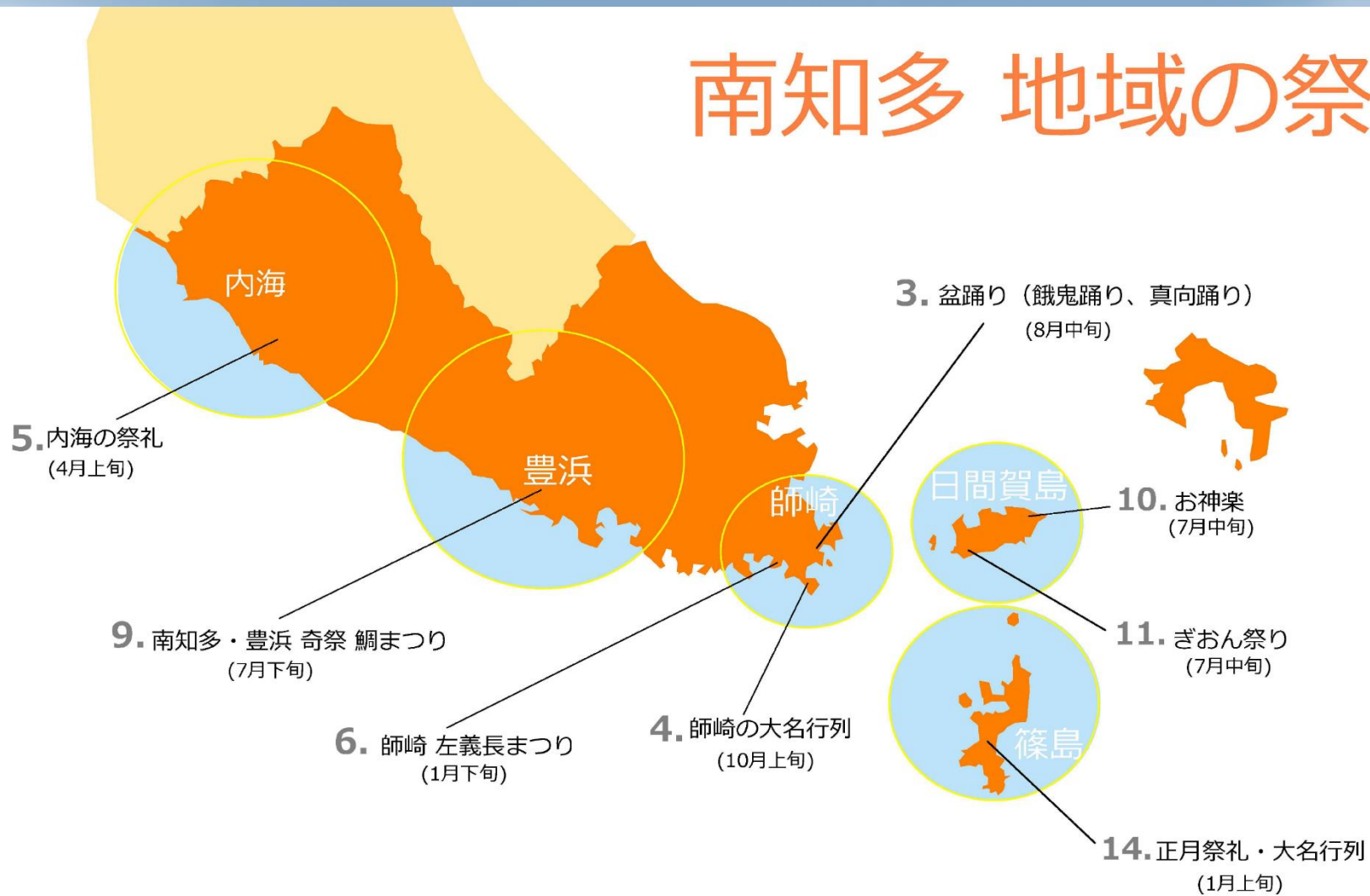
SAVOR JAPAN認定 までの道のり

2年目

地域と資源の見直し

→地域の共通課題からの掘り起こし
伝統文化の担い手不足

南知多 地域の祭



四季を通じた「祭り」の連なり

→滞在の長期化、リピーターの獲得

→核となる「祭り」は？

篠島に1000年以上続く伝統の神事



篠島の鯛（おんべ鯛）

おんべ鯛奉納祭とは、塩漬けにした鯛を毎年決まった数だけ伊勢神宮に奉納する祭礼です。「おんべ鯛」は1000年以上の長きに渡り続いていると伝えられており、起源が明らかでないほど深い歴史を持つ行事です。篠島では島民をあげてこの伝統を守っていくため平成10年から漁港でお祭りを催すことになりました。おんべ鯛の伝統を通じて、伊勢神宮との深い関わりを持つ篠島の島民は自分たちが神の島に住んでいるという高い意識を持っています。



篠島の鯛（おんべ鯛）

⇒オーセンティックな日本の食と文化

→自然に感謝し、命を育み、恵みを頂く

地域の固有の価値の見える化

SAVOR JAPAN認定 までの道のり

2. 2年目のチャレンジとその結果

令和元年7月 農泊事業2期目スタート（KPIとしてSJ認定を明記。。）
SAVOR JAPAN認定申請（2回目）⇒現地調査へ進出

9月 モニターツアー候補地視察（3回目）*同じコースで
民宿、ボランティアガイド、郷土歴史家、漁協組合、町職員 etc
→初年度に比して、参加者の多様化が進む

10月、11月 先進地視察の受入、ガイド育成・外国語対応の方法を模索

2. 2年目のチャレンジとその結果

SAVOR JAPAN認定 までの道のり



SAVOR JAPAN認定 までの道のり

2. 2年目のチャレンジとその結果

- 令和元年7月 農泊事業2期目スタート（KPIとしてSJ認定を明記。。）
SAVOR JAPAN認定申請（2回目）⇒現地調査へ進出
- 9月 モニターツアー候補地視察（3回目）＊同じコースで
民宿、ボランティアガイド、郷土歴史家、漁協組合、町職員 etc
→初年度に比して、参加者の多様化が進む
- 10月、11月 先進地視察の受入、ガイド育成・外国語対応の方法を模索
- 12月 **SAVOR JAPAN認定！**

1. 受入れ準備

令和元年12月～令和2年2月

- ①ガイド育成（郷土歴史家、外国人講師等）
- ②「篠島の鯛」を使ったフルコースメニューの検討
- ③「篠島の鯛」を使った体験プログラムの検討

*外国語、メニュー作成等に関しては、
専門家の派遣を農協観光に委託

2. 「篠島の鯛」プログラムの骨子

- 学ぶ
- 巡る
- 捌く（調製する）
- 食す

3. 「篠島の鯛」プログラムの完成

「篠島の鯛」プログラム

- 1) 「おんべ鯛」と島の歴史を学ぶ
- 2) 鯛の調製台や神明社等、縁の地を巡る
- 3) 自然に感謝して「篠島の鯛」を捌く
- 4) 「千年の鯛」と言われる美味しい鯛を、フルコースで食す

A・フルフォード氏講演会 プログラムガイド養成講座





初年度の勉強会風景



「日間賀島と篠島、船で10分足らずの互いの島に、
上陸したことのない島民が実は少なくない。」



日間賀島中学生の参加



「大人になったら、海外で英語を使う仕事を
したいと思っていたので、貴重な機会だった」



モニター（ターゲット）の選定

令和2年 1月 在日米国総領事館（名古屋）に打診
同 カナダ総領事館（名古屋）の打診
他、セントレア関係者、学識者、ゴルフプロ等に打診

島は小さい

* 篠島：外周約8.2km、日間賀島：外周約5.5km

モニターの選定

令和2年 1月 在日米国総領事館（名古屋）に打診
同 カナダ総領事館（名古屋）の打診
他、セントレア関係者、学識者、ゴルフプロ等に打診

欧・米・豪インバウンド

または

国内在留の高度専門外国人材

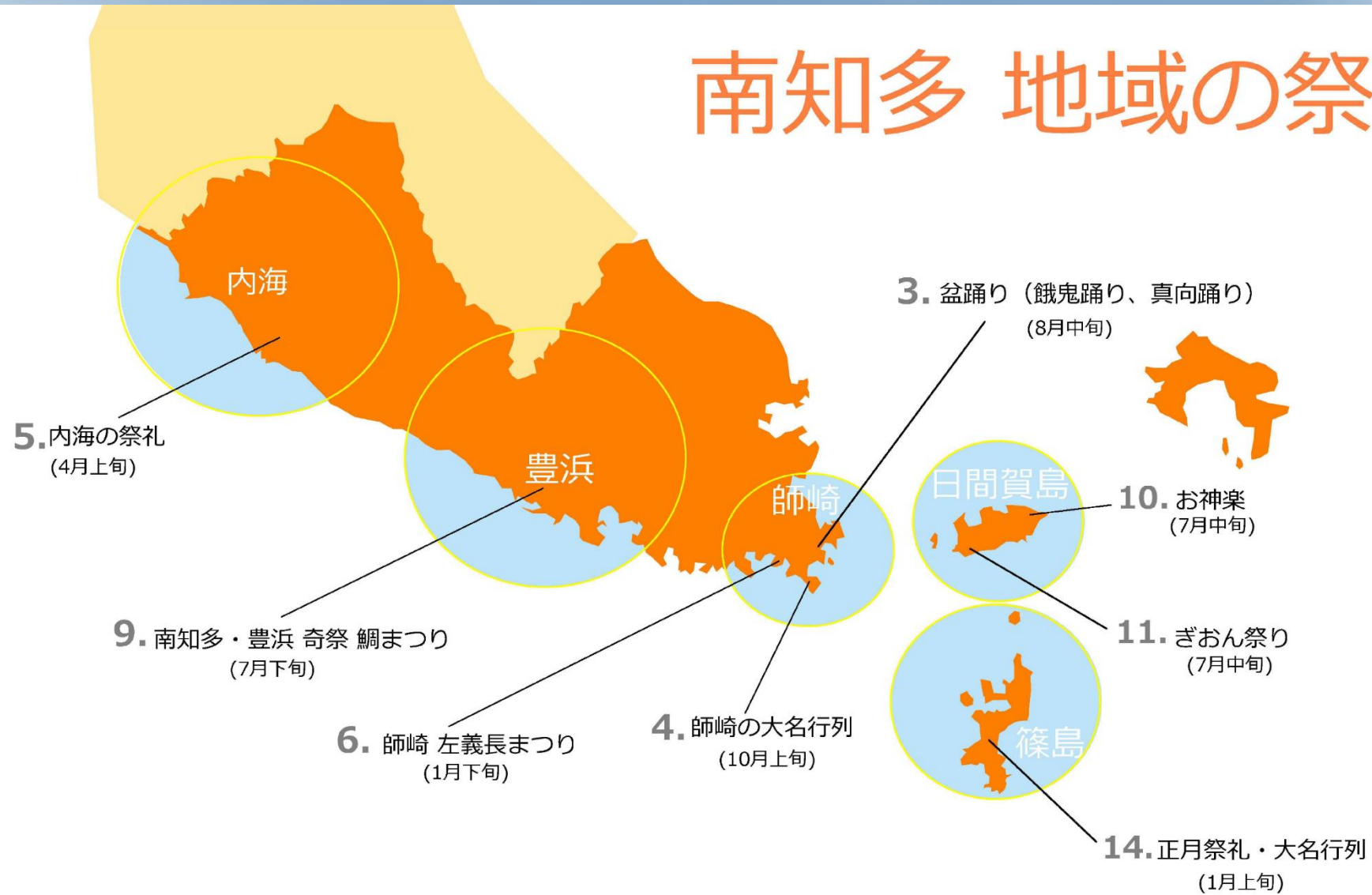
篠島：ホテル12軒 民宿20軒

*家族経営、季節営業、客室数少

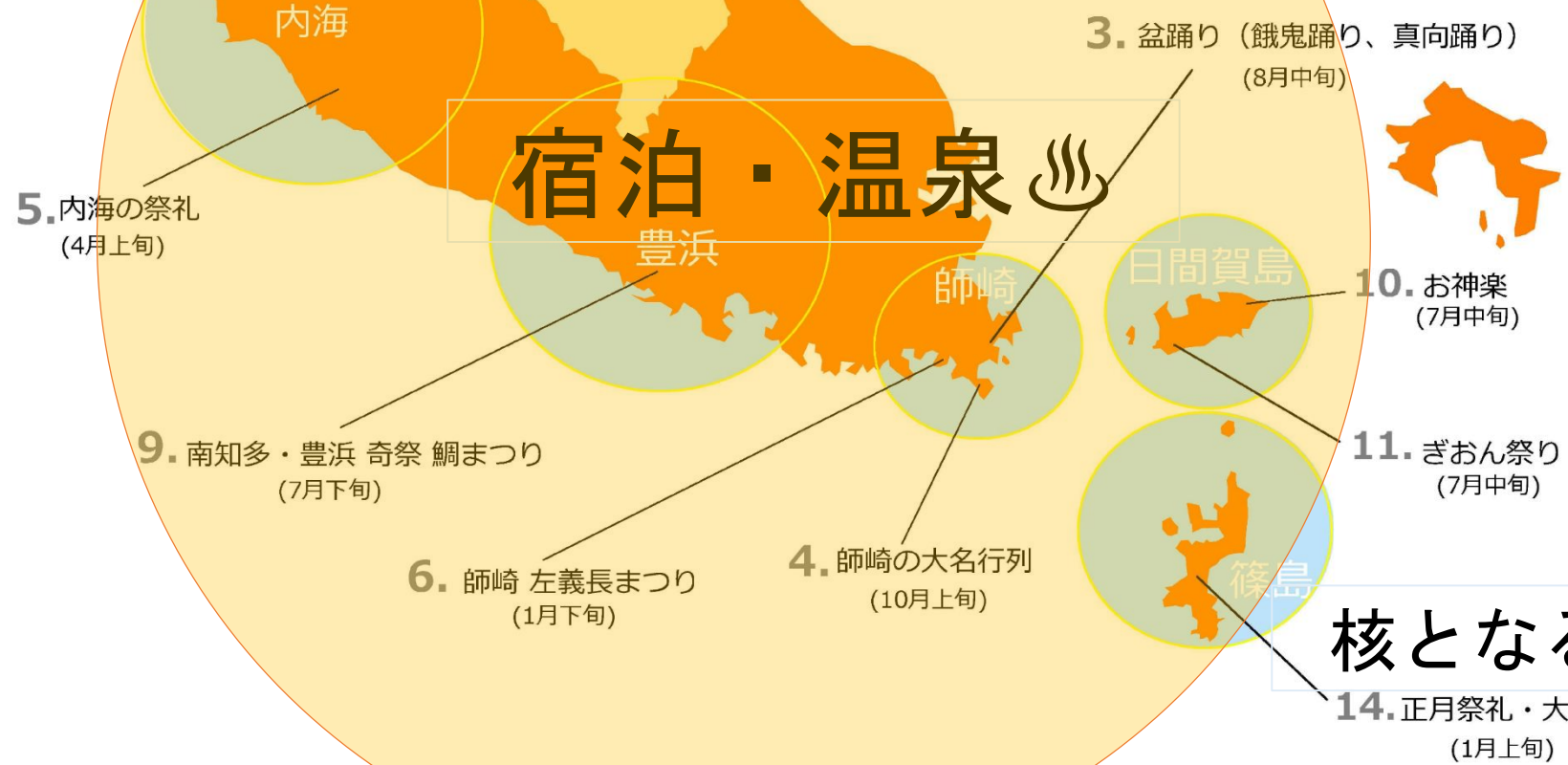
篠島・日間賀島・半島に
計141軒の宿泊施設

→地域を分散すれば、宿泊キャパは充足

南知多 地域の祭



南知多 地域の祭



核となるコンテンツ

14. 正月祭礼・大名行列 (1月上旬)

プログラムの地域共有

面で受け入れるための工夫

プログラムの地域共有

「篠島の鯛」プログラムの地域共有

- 1) 宿泊施設・飲食店等への「篠島の鯛フルコースメニュー」公開、レシピ提供
- 2) 「篠島の鯛 調製体験」のための備品（ハッピ等）の貸出
- 3) 「篠島の鯛」に関する英語資料データの提供
- 4) 「篠島の鯛」プログラム提供施設としてのあっせん、紹介

Shinonjima: The Dream Bream Feast

篠島：鯛づくしメニュー

「篠島の鯛」・夏 フルコースメニュー

Ocean dream

Mozuku seaweed in vinegar

【先付】 酢もずく

Breamy dream

Vegetable stick salad, served with sea bream salt

【前菜】 野菜のスティックサラダ 鯛塩で

Dream team

Sea bream triple sashimi

【向付】 鯛の刺し身 三種仕立て

Lucid dream

Sea bream surimi dumpling soup

【椀物】 鯛のすり身団子の吸物

Grilled dream

Sea bream in bamboo leaf, cooked on e

【焼物】 鯛の竹皮蒸し 陶板

Sauteed segue

Garlic turban shell

【強肴】 栄螺 ガーリック炒め



プログラムの地域共有

Simply Divine

The Sea Bream of Shinojima



Long, long ago,

Yamatohime-no-mikoto, a princess who is said to have established Ise Jingu Shrine, paid a visit to Shinojima and was served sea bream.

Delighted with it, she urged the islanders to make an offering of the fish at Ise Jingu.

Since then, and to this day, some of the sea bream landed at Shinojima have been ritually purified with salt to become Onbedai.

Three times each year, Onbedai are carried across Ise Bay to be offered to the gods at Ise Jingu.

Now you, too, can sample the sea bream deemed worthy of this great honor.



Shinojima

Tranquil Shinojima is 4 km off the



Sea Bream

The sea bream landed in Shinojima



Two Special Shrines

Shinmei Shrine is rebuilt every 20

「体験（学ぶ）プログラム資料」
の提供



プログラムの地域共有

「体験（捌く）プログラム 法被」
の貸出し



プログラムの地域共有

コロナ、緊急事態宣言、自粛

プログラムの地域共有

2021年（令和3年）

南知多・観光DX 始動

プログラムの地域共有

南知多・観光DX 元年



南知多町
Vol.02 2021.12
オンラインツアー
Online Tours

みんなの旅情と
オンラインでつながろう!

旬のてっちり鍋満喫!
オンラインで島時間を堪能する、
ディープな夜の日間賀島ツアー

お地元の味と新鮮な食材
伝統の鯛と
上質な牡蠣を味わう旅

1舟の賑わいをあめたの祭りをもっと楽しむために
【師崎左義長祭り】を
楽しむオンラインツアー

南知多町観光協会
〒465-0201 南知多町西港
TEL:0562-22-1111
FAX:0562-22-1112
E-MAIL:info@minamichita.com

南知多町観光協会
〒465-0201 南知多町西港
TEL:0562-22-1111
FAX:0562-22-1112
E-MAIL:info@minamichita.com

新年の風物詩
師崎左義長祭り
オンラインツアー
愛知県南知多町

1月22日(土) 14:00~15:15

南知多シリーズ
12/27
日曜日
13:00-15:00

愛知県南知多町
タコの島/
日間賀島名物
タコの干物づくり
体験オンラインツアー

12/26
日曜日
17:30-18:30

南知多オンラインツアー

旬のてっちり鍋満喫!
オンラインで島時間を堪能する
ディープな夜の日間賀島ツアー

南知多・観光DX 元年

プログラムの地域共有

域内のDX活用推進

Zoomは、オンラインツアーの実施のみでなく、事業者間の打合せや企画会議、リハーサルにも活用された。初めてZoomに触れる事業者も多く、当初は不安（不満）の声も多く聞かれた。



- ・ Zoom活用に遅れ
(7月~10月頃)

打合せ、連絡調整等に遅延が生じ、コンテンツが定まらない、プロモーションに支障も・・・

しかしオンラインツアー製作事業者からは、「自走化を目指すならこのまま（リアル会議を設けず）進めるべき」

感染症拡大により移動制限も・・・



- ・ キーパーソンの活動を強化
-Zoomと対面を併用し、体験の機会を増加
(10月~12月頃)

- ・ 入念なリハーサル
(2回以上)

- ・ 全10回のツアー催行



プログラムの地域共有

日本全国の潜在顧客に対し、南知多町で体験できる「農泊」を発信し、その一部を体験してもらおう

しらす丼づくり
体験キット付



自然

タコ干物づくり
体験キット付



左義長ミニのぼり
作成キット付



歴史・伝統

地域色

物販も好調！

エビフライ調理セット
佃煮・えびせん付

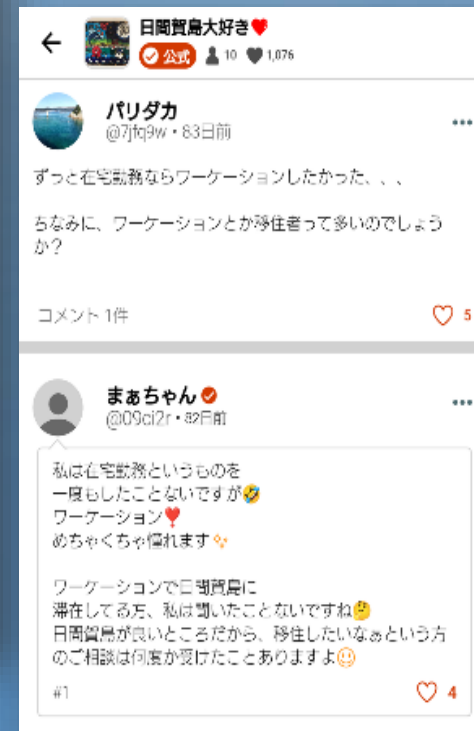


てっちり・ヒレ酒
オンライン飲みセット付

プログラムの地域共有

SpoTribeの活用

「コミュニティマネジャー」に SpoTribe アプリの導入、使い方等を対面で説明、機能や趣旨等の理解を深めた。



“島時間”・“農泊”を感じられる地域情報が豊富に投稿されるようになった。

→農泊のファン層を認知

南知多の次の一步

愛知県・南知多町×DMO×農泊



2022.9.27
認証取得！

オーセンティックな日本を感じられる
美しい浜辺の維持、文化と食の連動

「世界の持続可能な観光地 100 選（以下、TOP100 選）」 「TOP100選」は、オランダの非営利団体 “GREEN DESTINATIONS” がより良い観光地づくりに努力している地域を毎年選出しているものです。このTOP100選の認証自体は、国際認証の最高位である “GSTC (Global Sustainable Tourism Council)” 認証を取得までの 6 段階の表彰制度のうち最初のステップにすぎませんが、そこへのエントリーにより、持続可能な取り組みを実施している地域の証としてのブランド化につながります。

GSTC 認証を取得するまでには、GREEN DESTINATIONS が定めた 100 項目をすべてクリアする必要があり、今現在、アメリカ、オランダの 2 都市だけが取得しています。項目は、観光に特化したものだけではありません。地域の生活自体に関わるものも多く、地域づくりにおける観光の位置づけや、地域の観光に対するマネジメントやモニタリングに関する項目なども含まれています。

(JTB 総合研究所・2020 年 12 月 17 日更新「世界の TOP 100 エリア のうちの 6 エリア」)

南知多の次の一歩

南知多町×DMO×農泊



リアルインバウンド・ミーツ・内海バリアフリービーチ！

1 → 2 → 3

ご清聴、ありがとうございました！

南知多農泊推進協議会
一社) 知多半島観光事業協会

令和4年9月30日

「第1回 愛知県農泊ネットワーク促進セミナー」